

平成 30 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

商工観光部



目 次

外国人技能実習生の雇用支援	1
市内企業の技術・技能人材確保に対する支援	2
道の駅宙ドーム・神岡の第二駐車場整備	3
ものづくり事業者の育成支援	4
企業の人材確保力の強化	5
企業の魅力的な就職情報の発信	6
商工業活性化包括支援事業	7
飛騨市観光物産展の開催	9
ネットショップ運営のための人材育成	10
郷土工芸品産業技術後継者の育成	11
商工会・商工会議所の支援	12
景気動向調査事業	13
飛騨古川まつり会館展示装飾リニューアル実施計画の策定	14
観光看板等「まちの身だしなみ」の整備	15
大学観光学部等との連携事業	16
池ヶ原湿原の誘客推進	17
プレス・旅行エージェントの招聘	18
観光客動向実態調査事業	19
アニメ・ロケツアーリズムの推進	20
コンベンション誘致の推進	21
観光誘客宣伝・P R活動事業	22
池ヶ原湿原のバリアフリー遊歩道の整備	23
飛騨市観光協会の体制強化	24

[拡充] 外国人技能実習生の雇用支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,286	ふるさと創生基金	3,000	補助金	2,320
	一般財源	286	謝礼	432
			その他	534
(前年度予算 0)				

2 事業背景・目的

人口減少に伴う労働力不足が全国的に問題となるなか、市内事業者では外国人技能実習制度を活用する取り組みが増えています。この取り組みを支援するために、平成29年度9月補正予算にて外国人技能実習生のための通訳支援事業等を制度化したところです。

外国人技能実習制度の活用は、受入事業者にとって、現地での面接や市内での住まいなど多額の費用を負担しなければならないことから、市内での空き家の増加の問題も視野に、空き家・アパート等を社宅として借上げ、外国人実習生の住まいを確保する事業者に対して補助制度を導入するとともに、事業者が現地へ面接に出向く費用についても助成します。また、実習生の飛騨市に対する見聞を深めるために市内の見学ツアーを開催し、安心して実習に取り組んでいただける環境をつくります。

3 事業概要

- ① **【継続】外国人技能実習生のための通訳支援事業 (1,500千円)**
- ② **【継続】日本語学習と飛騨の生活文化教室開催事業 (566千円)**
- ③ **【拡充】外国人技能実習生交流事業 (300千円)**

事業所に勤める実習生同士の交流を深めるため、昼食を兼ねた交流会を開催するとともに、飛騨市に対する見聞を深めるための市内主要施設の見学ツアーを開催します。

- ④ **【新規】外国人技能実習生面接旅費等補助事業 (200千円)**

一回の渡航に限り、5万円を限度として現地面接の渡航料の1/3を補助します。

- ⑤ **【新規】外国人技能実習生のための空き家等の社宅化利用の支援 (720千円)**

外国人技能実習生の生活を支援するとともに、市内の空き家の解消を図るために、月額3万円を上限として賃借料の2/3を3年間補助します。

(款)	5 労働費	(項)	1 労働諸費	(目)	1 労働諸費
所 属	商工観光部商工課		TEL0577-62-8901	予算書	P. 85

継続 市内企業の技術・技能人材確保に対する支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
600	一般財源	600 補助金

(前年度予算 1,200)

2 事業背景・目的

市内には、国内トップクラスのシェアを誇る分野の企業が多数あり、そこでは専門分野の人材が必要とされています。薬剤の物質構造の研究や成分分析、あるいは自動車製造における部品設計などの特殊な知識や技能は大学や専門学校で習得されるため、そのような人材を企業が採用する場合には市外で広く募集することが不可欠となっています。

そこで、市内企業が専門分野の人材を確保するため、求人専門サイトへの情報掲載や市外での就職ガイダンスに出展する場合の経費について支援し、優れた人材の確保と市内商工業の発展を図ります。

3 事業概要

○ 専門人材確保支援事業補助金 (600千円)

- 補助対象者 : 市内事業所
- 補助対象経費 : 専門分野の人材を確保するために必要な費用
求人専門サイトへの掲載料、市外の就職ガイダンス出展料など
- 補助率 : 1/2以内
- 補助上限額 : 30万円
- 利用制限 : 同一年度において1事業者につき2回まで

(款) 5 労働費	(項) 1 労働諸費	(目) 1 労働諸費	
所 属	商工観光部商工課 Tel.0577-62-8901	予算書	P. 85

新規 道の駅宙ドーム・神岡の第二駐車場整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
14,700	過疎債 12,900 諸収入 900 一般財源 900	工事請負費 12,900 委託料 1,800
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

平成31年4月、道の駅「宙(すかい)ドーム・神岡」において、スーパーカミオカンデを中心とした宇宙物理学研究を紹介展示する施設「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」が開館予定です。全国に類を見ない道の駅となることから、開館時には相当の来場者の増加が予想されますが、現在の駐車場収容台数は、普通車74台、大型車11台の計85台分しかありません。

このため、施設裏側に第二駐車場を整備します。第二駐車場は収容台数を普通自動車50台としており、完成後には既存駐車場と合せて、普通車124台、大型車11台が駐車可能となる予定です。

3 事業概要

土地取得にあたっては、現在市が貸与している市有地との等価交換とします。

① 土地取得費 (用地測量、用地分筆) 1,800千円

- ・ 地目：宅地 ・ 面積 A=約2,600㎡
- ・ 市取得予定地 神岡町殿531番1
- ・ 市譲渡予定地 神岡町船津2142番14ほか

② 駐車場整備工事 12,900千円

駐車場舗装 A=1,400㎡、駐車場乗入部改修 (普通車50台分)

駐車場案内看板設置費 (6箇所)

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 TEL0577-62-8901			予算書	P.96~97

新規 ものづくり事業者の育成支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,998	県支出金	900	委託料	1,998
	ふるさと創生基金	1,000		
	一般財源	98		
(前年度予算 0)				

2 事業背景・目的

飛騨市内には、優れた伝統工芸品や郷土工芸品、あるいは加工食品や地酒等が多数生産販売されていますが、市外へその魅力が十分に伝わっていないため販売、消費につながっていない現状があります。

今後の市内ものづくり事業者が勝ち残っていくためには、地域内人口が減少する中、いかに地域外から外貨を獲得していくのかが大きな鍵となってきます。

そのために、ものづくり事業者の意識改革と経営力向上を図るとともに、商品等のパッケージやデザイン力を強化し、商品の見せ方や演出により商品のブラッシュアップを行い、商品単価を上げて売れる商品づくりを目指します。

なお当事業は、4年間にわたる事業として、平成30年度は平成31年度からの具体的施策を方向付けるキックオフの事業年度とし、商品課題の解決、事業者の経営力向上、「飛騨市」の認知度向上施策を実施していく中で、平成33年度には首都圏での地域・商品ブランド力の確立を図るとともに、アンテナショップの開設を目指します。

3 事業概要

① ものづくりの現場の現状把握等調査

市内ものづくり事業者の現状把握として、事業者の課題及び商品の課題を調査抽出し、平成31年度以降のプロジェクト進行における目的の明確化を図ります。

② ものづくり勉強会の開催

市内ものづくり事業者の意識向上を図るために、デザイナー及びバイヤーを講師とした勉強会を4回開催します。

③ マーケティング販売の実施

既存の商品力調査として、首都圏のショップにて1ヶ月間のマーケティング販売を実施し、直接消費者の声を聞き取るためにアンケート調査を実施します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 Tel.0577-62-8901			予算書	P.97

新規 企業の人材確保力の強化

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な用途】	
1,200	県支出金	600	委託料	1,200
	ふるさと創生基金	600		

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

飛騨市内の事業所より、人口減少に伴って労働力不足の訴えが多く聞こえてきます。解決方法としては、定住人口の増加は勿論のことですが、「地域内の女性・高齢者の活用」と「地域外からの採用力強化」があります。前者は、そろそろ限界に近づいていることが各種データからも明らかになっており、「地域外からの採用力強化」について各事業所が取り組んでいく必要があります。

「地域外からの採用力強化」を図るためには、まず地域外の人々に飛騨市内の企業を知ってもらうことが必要です。現在でも、各社において情報発信については実施されていますが、いかに今よりもさらなる自社の情報発信を行い、知ってもらうことができるかが鍵となります。

そのために、自社の魅力を再発見・再認識し、その魅力を整理して、いかに地域外へ発信していくのかといった、市内企業の情報発信力の強化事業に取り組みます。

3 事業概要

① 情報発信力強化対策セミナーの開催

人手不足を解消するために、企業向けの情報発信力強化対策セミナーを開催し、企業のマインドセットを磨きます。

② 企業の情報発信のための寄り添い型の個別支援

企業の情報発信のため、自社の特徴や強みといった「基本ツール」をそろえるワークショップの開催や寄り添い型の個別支援を実施します。

③ 人材採用サイトとの連携研究

インターネット空間で自社をアピールするため、採用サイトと連携するなどの方法論の学習を実施します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課		TEL0577-62-8901	予算書	P.97

拡充 企業の魅力的な就職情報の発信

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,525	ふるさと創生基金	1,500	委託料	1,500
	一般財源	25	報償費	15
			役務費	10
(前年度予算 1,300)				

2 事業背景・目的

市内企業からは人手不足を訴える声が多い一方で、高校生や大学生には地元企業の情報が十分に届いていないのが現状です。

そのため、平成 28、29 年度に若者向け、特に高校生向けの市内企業就職総合情報誌を作成し市内外の多くの高校生を対象に配布するとともに、ウェブサイトでもその情報を公開し、市内企業の情報発信を行っております。

平成 30 年度は、既存の企業就職総合情報誌を最新の内容に更新するとともに、企業の魅力的な情報を拡充し、若者の地元就職を促進します。

3 事業概要

① 【拡充】就職総合情報誌の作成

市内企業の紹介、市内企業で活躍する先輩のインタビュー記事、市の支援制度等を紹介する若者向け就職総合情報誌を作成し、市内外の高校生に配布します。

なお、平成29年度に作成した情報誌の特集記事や企業情報を更新し、常に新鮮な情報を伝えます。就職希望者のみならず、大学進学などで市外へ流出する高校生にも市内企業に興味を持ってもらえるような魅力ある情報を拡充するとともに、地元就職者の先輩からのメッセージ性のある内容も掲載します。

② 【継続】WEB版就職情報の発信

就職総合情報誌の内容と連動した市内企業紹介サイト「企業ステーションH i d a」で、市内企業の情報をパソコンやスマートフォンで手軽にいつでも閲覧できるものとします。また、希望者には、市内就職に関する情報をメール配信するサービスも行い、若者の地元就職を促進します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課		Tel.0577-62-8901	予算書	P.96～97

拡充 商工業活性化包括支援事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
20,108	ふるさと創生基金	15,000	補助金	20,000
	一般財源	5,108	委託料	108
（前年度予算 26,800 ）				

2 事業背景・目的

市内における商店は年々減少しており、売上の減少、事業者の高齢化、後継者問題などその理由は多岐に渡ります。その一方で、更なる販路拡大を目指す既存事業者や起業される方も増えてきています。

平成29年度に引き続き、積極的に外貨を取り込もうとするやる気のある事業者が、豊富な補助メニューの中から柔軟に選択できる包括的な支援制度を継続し、市内商工業の振興と地域活性化を図ります。

3 事業概要

新たに空き店舗改修補助及び商店街みだしなみ補助のメニューを新設するとともに、事業者が柔軟に利用できる補助金制度とします。

① 【新規】 空き店舗改修補助事業

市内における空き店舗等の流動化を促進し、商業振興、地域活性化等を図るために、市内にある空き店舗等の所有者等が当該空き店舗を増改築又はリフォームを行い賃貸店舗とした場合、その店舗改修費用の一部を補助します。

② 【新規】 商店街みだしなみ補助事業

長年、商店街のシンボルであったアーケード等の老朽化に伴う設備の修繕など、商店街のみだしなみ景観に努める費用の一部を補助します。

③ 【拡充】 展示会出展補助事業

対象となる展示会を県外から市外へ拡充し、県内の展示会へ出展する事業者に対しても広く支援を行います。

④ 【拡充】 新商品開発補助事業

補助対象となる経費を拡充し、実際に販売する際に重要となるパッケージデザイン料や広告宣伝費も対象とします。また、市で取り組んでいる「飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト」や「飛騨えごまの里プロジェクト」等に呼応する新商品については、3年間に限り補助対象額を2/3へ拡充します。

※同支援事業の全ての補助メニューは裏面に掲載しています。

・補助対象者：市内で1年以上事業を営む者（※起業化促進補助、空き店舗

改修補助、外国人観光客受入促進事業補助は除く)

・利用制限：1事業者につき年間2メニューまで

補助メニュー	補助率・限度額
新 空き店舗改修補助	1/2以内・150万円
新 商店街みだしなみ補助	1/2以内・50万円
拡 展示会出展補助	1/2以内・30万円
拡 新商品開発補助	1/2以内・20万円
継 店舗リニューアル補助	1/3以内・100万円 ※宿泊業は上限150万円
継 Web環境整備補助	1/2以内・30万円
継 Wi-Fi整備補助	1/2以内・30万円
継 中心市街地店舗拡大補助	2/3以内・100万円 ※市が指定する地域への出店は上限150万円
継 起業化促進補助	2/3以内・100万円 ※第二起業者は補助率1/5以内 市が指定する地域での起業は上限150万円
継 外国人観光客受入促進事業補助	1/2以内・10万円

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 TEL0577-62-8901			予算書	P. 97~98

拡充 飛騨市観光物産展の開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,925	一般財源	1,925
		旅費 735
		使用料 555
		その他 635
(前年度予算 2,700)		

2 事業背景・目的

平成28年度において飛騨市推奨特産品認定制度を創設し、その認定メリットとして認定商品を飛騨市として市外へ全面的に売り出しています。

引き続き、平成30年度は北陸地域での開催を追加し、県内外の集客力のあるハイウェイオアシスや大規模イベントでの観光物産展を積極的に展開し、全国のお客様に飛騨市特産品の魅力を知っていただくとともに、飛騨市へ訪れていただくきっかけづくりとします。

3 事業概要

① 【新規】北陸圏での開催

- ・北陸自動車道SAでの飛騨市観光物産展を新たに開催（9月予定）

② 【拡充】関西圏での開催

- ・京都・ゼスト御池での岐阜県観光と物産展に参加（6月予定）
- ・大阪・彩都やまもりでの岐阜ふるさと祭りに参加（10月予定）

③ 【拡充】首都圏での開催

- ・2018よい仕事おこしフェア（東京国際フォーラム）への参加（8月予定）
- ・フードセレクション2018（東京ビッグサイト）への参加（11月予定）
- ・葛飾区産業フェアへの継続参加（10月予定）

④ 【継続】中京圏での開催

- ・イオン物産展への参加（H31.1月予定）
- ・金山総合駅での飛騨市観光物産展の継続開催（12月、H31.2月予定）
- ・その他、岐阜県観光連盟との連携による観光物産への参加（随時）

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 TEL0577-62-8901			予算書	P.96～97

継続 ネットショップ運営のための人材育成

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
5,432	ふるさと創生基金	4,900	委託料	5,432
	一般財源	532		

(前年度予算 5,000)

2 事業背景・目的

ふるさと納税の御礼の品として、飛騨市の特産品は全国に多く知られることとなりました。しかし、その商品をもう一度手に入りたいという全国のお客様にとっては、その商品がインターネット販売を実施していない場合は、再度購入することが困難な状況となっています。

そのため、市内の食品、工芸品、お土産等の特産品をいつでも、全国どこからでも購入することができるネットショップを開設するとともに、ネットショップ運営にかかる人材育成を図ります。

3 事業概要

平成29年度は、ネットショップ運営に必要な基礎的なスキルを身につける研修を実施しました。平成30年度は実践・応用のための研修を実施し、専門のスタッフを常置したネットショップを11月から開設します。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 TEL0577-62-8901			予算書	P.97

継続 郷土工芸品産業技術後継者の育成

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,800	一般財源	補助金
	1,800	1,800

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

飛騨市には伝統ある郷土工芸品が数多く存在し、長年地域産業を支えてきました。しかし、職人の高齢化や後継者不足からやむなく廃業され、途絶えてしまった工芸品も多くあり、伝統文化の継承、発展は喫緊の課題となっています。

平成 29 年度に引き続き、古川町内で飛騨の祭りに欠かすことのできない「提灯」の製法を学び、数年前に廃業された「提灯づくり」の復活に向け取り組んでいる方がおられることから、この取り組みを支援し、一度途絶えてしまった郷土工芸品産業の復活と、地域産業の更なる発展を目指します。

3 事業概要

○ 郷土工芸品産業技術後継者育成奨励金の交付

指導者と見習い者への支援として、「飛騨古川提灯」の製法を学ぶことに専念していただくための助成を行います。

- ・指導者 月 5 万円
- ・見習い者 月 10 万円
- (支援期間：2 年間)



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 2 商工振興費	
所 属	商工観光部商工課 ☎0577-62-8901	予算書	P. 98

継続 商工会・商工会議所の支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
15,798	一般財源	補助金
	15,798	15,798

(前年度予算 15,748)

2 事業背景・目的

市内には、古川町商工会、北飛騨商工会、神岡商工会議所の3つの商工団体が設置されており、地域の商工業の振興及び地域の活性化を目的として、毎年、各商工団体へ運営補助金を交付しています。

平成29年度より、補助金算定基準の明確化を図りましたが、平成30年度も引き続きそのルールに従い運営補助金を交付します。

3 事業概要

① 【継続】商工会・商工会議所運営補助金 (14,798千円)

商工団体ごとに、以下の基準により補助金額を算定します。

- (1) 均等割 : 商工団体ごとに一律 2,000千円
- (2) 会員数割 : 会員一人当たり 5千円
- (3) 事業所数割 : 一事業所当たり 2千円

古川町商工会 H28 4,500千円 → H29 6,678千円 → H30 6,678千円

北飛騨商工会 H28 3,000千円 → H29 3,000千円 → H30 3,000千円

神岡商工会議所 H28 4,240千円 → H29 5,070千円 → H30 5,120千円

② 【継続】商工団体地域活性化補助金 (1,000千円)

商工団体が主催する地域活性化イベント等実施に対し、当該事業費に係る自己財源の1/2以内を補助します。

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 2 商工振興費	
所 属	商工観光部商工課 TEL0577-62-8901	予算書	P.97

継続 景気動向調査事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
98	一般財源	98 役務費

(前年度予算 100)

2 事業背景・目的

正確な飛騨市内の景況感を把握し、その実態を踏まえたより効果の期待できる商工施策立案へとつなげていくため、平成 29 年度に引き続き、市独自の景気動向調査を実施します。

3 事業概要

○ 飛騨市独自の景気動向調査の実施

- ・ 市内の事業者を業種別に区分し、幅広い分野を把握します。
- ・ 調査対象事業所は、市内約300事業所を予定しています。
- ・ 年 2 回の調査で定点観測とし、調査結果の比較分析から景況感を把握します。



※D I (ディフュージョンインデックス)とは、景気の拡大や後退を示す指標の求め方の一つ。

前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を指す。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 Tel.0577-62-8901			予算書	P.96

新規 飛騨古川まつり会館展示装飾リニューアル実施計画の策定

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,000	県支出金 2,900	委託料 6,000
	ふるさと創生基金 3,100	
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

飛騨古川観光の中心に位置する飛騨古川まつり会館は開館後25年を経過していますが、この間、展示内容や装飾等についてほとんど手が入っておらず、特にパネル等の展示物については劣化していることが目に見えて分かる状況となっています。

このため、飛騨古川まつり会館展示装飾検討委員会で提案された展示装飾リニューアル案やそこで出た様々な意見を踏まえ、飛騨古川の町を象徴する施設として古川祭の歴史や当日の祭りの流れなど基本的な機能を強化・ブラッシュアップして、訪れる国内外観光客の方々に古川祭を理解いただき、祭当日に再び訪れてみたいと思える展示内容にするための計画を策定します。

3 事業概要

○ 飛騨古川まつり会館展示装飾リニューアルに係る実施計画策定事業 (6,000千円)

古川祭の歴史文化や当日の祭りの一連の流れがいつ来ても理解できる展示となるよう、パネルや装飾関係などの展示に係る実施計画を委託により作成します。



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463	予算書	P.99

新規 観光看板等「まちの身だしなみ」の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,900	一般財源	2,900
		修繕料 2,000
		工事請負費 900
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

現在飛騨市内には多数の観光用案内看板が設置されていますが、設置してからの経年劣化により景観を損ねるものがあり、修繕や内容修正、撤去が必要な状況です。

また、観光客数の増加により、古川町を観光するだけでなく神岡や河合、宮川などを観光するなど多様なニーズも昨今増えています。特に、天生県立自然公園では海外からの観光客のニーズが高まっているとともに、レールマウンテンバイクは自家用車でのアクセスが増えています。

飛騨市に訪れる観光客の多くが自家用車利用であることから、この状況を活用して市内周遊につなげるため、誘導案内看板を整備していきます。

3 事業概要

① 【拡充】まちの身だしなみ整備事業 (2,000千円)

市内に既設の老朽化した危険な案内看板を撤去、修繕を施すなど、訪れる観光客の方々に気持ちよく視界に入る案内看板としていきます。

- ・看板修繕、撤去処分 各5箇所程度を予定
- ・坂上駅前アーチ付サイン修繕

② 【新規】観光客誘導案内・説明看板設置事業 (900千円)

観光客の利便性に配慮し、昨今ニーズが高い飛騨古川から神岡への誘導案内看板や、岐阜の宝ものである天生県立自然公園の看板多言語化を行います。

- ・誘導観光案内看板設置
 - ※1 飛騨古川から飛騨神岡間に設置
 - ※2 天生県立自然公園内に英語表記による案内看板を設置

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
所 属	商工観光部観光課 ☎0577-73-7463	予算書	P.99~100

新規 大学観光学部等との連携事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源	500 旅費
(前年度予算	0)	500

2 事業背景・目的

アニメ映画の影響で若年層の観光客が急激に増加したとはいえ、飛騨市、特に飛騨古川市街地は、従来から比較的中高齢者に好まれる観光地であります。

今後継続的に地域内消費の増加を図るためには、飛騨市のファン作りと若年層の観光客を誘致・再訪につなげていくことが必要と考えており、そのためにも現代の若者の視点や感性を取り入れた政策立案が必要であると認識しております。

このため、大学の観光学部・ゼミ等と連携し、20代の若者に好まれる観光地作りの提言、学生目線での強み・弱みの調査、同年代へのSNSを使った情報発信など、若者ならではの意見を施策に反映していきます。

3 事業概要

① 【新規】認知度調査及び資源の発掘調査等事業 (334千円)

学生同士でつながるSNSコミュニティ (LINE 等) などを活用し、学生に対して飛騨市の認知度等の調査を実施。結果を市の観光施策に反映する材料として活用します。

また、インターンシップを受け入れ、現代の若者の感性に響く素材を発見し、SNSを活用するなど、若者世代の認知向上を図ります。

- ・ 関東方面大学学生 3 名程度招聘予定 (インターンシップによる受け入れを想定)

② 【新規】祭屋台位置情報リアルタイム発信実証実験事業 (166 千円)

名古屋大学大学院情報学研究科と連携し、古川祭の際、祭り屋台がどこに在るのかりリアルタイムで情報発信できるような仕組みの構築を目指した実証実験を行います。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P.98

新規 池ヶ原湿原の誘客推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
910	ふるさと創生基金 900 一般財源 10	委託料 910
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

飛騨市の有する手付かずの自然は、全国的にも特徴的で観光客に訴求できるだけのポテンシャルを秘めていると考えられますが、アクセス道路の狭さや公共交通によるアクセス手段に限られるなどの理由から集客のためのプロモーションを積極的に進められず、いまだに観光商品として十分に確立できていません。

他方、池ヶ原湿原ではバリアフリーの遊歩道を整備中であり、整備後には障がい者の方々にも貴重な高山植物を間近に楽しんでもいただける魅力的なスポットとして、多様な観光客の方々を満足させられる自然資源であると考えています。

このため、この全国的にも希少な資源である池ヶ原湿原について、より多くの方々に来て見ていただき、口コミにより話題を広げてもらうなど、更に認知を高めていくための具体的な取組みが必要です。

3 事業概要

○ 池ヶ原湿原団体バスツアー誘致事業 (910千円)

これまで団体ツアーの造成が難しかった池ヶ原湿原について、旅行会社とタイアップし、手前から小型バスと連結することで、課題を解決してより多くの観光客の方々の来訪と認知向上につなげます。

- ・小型バス運行委託 14 台分 (旅行商品 7 本分想定)



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P. 100

新規 プレス・旅行エージェントの招聘

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
472	一般財源	472
		旅費 436
		需要費 36

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

飛騨市をはじめとする地方への誘客を進めるためには、メディアや旅行会社等キーパーソンとの双方向コミュニケーションが欠かせなくなっております。これまで全国各地で開催される商談会等において多様なキーパーソンとの面識を持つ機会を積極的に構築し、商品造成につながった実績もありますが、実際に飛騨市に来て体験していただくことによる商品造成・メディア露出を考えた場合、多方面からの要望に随時応えられる体制になっているとは言いがたい状況です。

このため、市側からプレスや旅行エージェントを招聘する機会を積極的に造成し、飛騨市のメディア露出や旅行商品造成を積極的に推進します。

3 事業概要

○ キーパーソン招聘事業 (472千円)

全国各地へのキャラバン及び商談会への積極的な参加により形成した人脈を活用し、飛騨市の強みをうまく引き出していただけそうなキーパーソンを招聘してメディア露出・旅行商品造成への足がかりとしていきます。

- ・プレス・旅行エージェントの飛騨市管内視察 (10名程度想定)



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P. 98

新規 観光客動向実態調査事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
200	一般財源	200 委託料

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

古川祭のユネスコ無形文化遺産登録やアニメ映画「君の名は。」などの影響により、飛騨市の認知が高まるにつれて訪れる観光客の方々も増加傾向にあります。この流れを一過性にするのではなく永続的に多くの観光客の方に来ていただくためには、現在の観光客のニーズや地域性、観光市場の特性等を把握し、今後の政策に反映することが大切です。

そこで市では、現在も多様な方法で情報収集に努めておりますが、まだまだ情報が少なく、十分なデータも揃ってない事から、より一層情報収集を強化する必要があると考えているところです。

中でも現在行っている駐車場の利用台数調査の土日祝祭日については、推計値において算出していることから、必ずしも現状を正確に捉えているとは言いがたく、より一層の正確性が求められているところです。

3 事業概要

○ 観光客動向実態調査事業 (200千円)

市役所前駐車場をはじめとして現在行っている駐車台数調査について、より正確な観光客の実態を把握することを目的に、土日祝祭日における観光客の駐車場利用台数の調査の一部を委託により実施します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P.99

継続 アニメ・ロケツーリズムの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な用途】	
4,910	県補助金	2,180	委託料	4,100
	一般財源	2,730	負担金	250
			その他	560
(前年度予算 500)				

2 事業背景・目的

映画だけでなくドラマやアニメの舞台となって描かれている地域には、そのファンが大挙して訪れるなど、いまやシティブロモーションにつながる施策として全国の自治体がロケ等の誘致活動を展開しています。他方で地理的な近さからメディア・媒体や制作会社が多数所在する東京圏周辺の自治体に偏る傾向があり、距離が遠い飛騨市などの地方にロケ等を誘致するためには、業界関係者との人間関係の構築と的確な情報発信が不可欠となっています。アニメ映画「君の名は。」で認知度が上がっているタイミングを活かすには、継続的な情報発信やメディアが注目する事業を継続的に注力していく必要があります。

このため、ロケツーリズム協議会、アニメツーリズム協会など、製作者サイドと強力なコネクションを有する組織と連携し、ロケ等の誘致につなげる活動を展開します。

3 事業概要

① ロケツーリズム協議会連携事業 (100千円)

協議会への加盟により映像制作者との人間関係構築及びセミナー参加により先進地の取り組み事例や権利処理の知識の醸成を行います。

② ロケツーリズム推進事業 (4,000千円)

官民一体となった組織によるロケ受入体制強化のためセミナー開催や、飛騨市がロケ地となるようロケーションの情報発信、監督や制作者を招聘したロケ班ツアーを実施します。

③ 全国ふるさと甲子園出展事業 (200千円)

昨年初出場し6位に入賞した「行きたいまちNo.1を決める全国ふるさと甲子園」に本年度も出場し、飛騨市の認知度向上及びロケ誘致につながるよう上位入賞を目指します。

④ アニメツーリズム協会連携事業 (150千円)

アニメツーリズム協会と連携し、アニメ聖地を活用した事業の展開に取り組みます。

⑤ ぎふアニメ聖地連合事業 (460千円)

連合体の相互支援及び各自治体の取り組み事例の調査・研究を継続し、アニメコンテンツを活用した権利処理や地域活性化等についてセミナーを開催します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課		TEL0577-73-7463	予算書	P.98～99・101

[拡充] コンベンション誘致の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
9,970	ふるさと創生基金	9,000	補助金	9,270
	一般財源	970	使用料	700

(前年度予算 9,270)

2 事業背景・目的

飛騨市内施設を利用するコンベンションは、数河・流葉・黒内地区で開催されるサッカーやラグビーなど、グラウンドを使ったスポーツ大会が主なもので、音楽や演劇などの文化・芸術を中心としたコンベンションがまだまだ少ない現状であります。

また、開催時期についてもその大部分が夏場に集中することから、グラウンドに関しては閑散期の活用、文化交流施設については更に多くの利用者を誘致するなど、通年を通して市内施設の利用を増進していく必要があります。

昨今、全国各地でコンベンションの誘致競争が激化していることから、飛騨市の強みを活かして新規顧客の獲得と既存顧客へのメリットを打ち出すなど、市内での宿泊・滞在が見込める様々なコンベンションを積極的に誘致していきます。

3 事業概要

① 【継続】 コンベンション事業推進補助金 (9,270千円)

コンベンションの誘致実績に対する補助

③ 【新規】 市内入浴施設入場割引券提供 (700千円)

全国各地からコンベンションの新規獲得を推進するため、市内入浴施設を活用し、入浴割引券提供による誘致と施設利用の促進



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P.100~101

継続 観光誘客宣伝・PR活動事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】								
14,528	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ふるさと創生基金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">6,200</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">8,328</td> </tr> </table>	ふるさと創生基金	6,200	一般財源	8,328	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">広告料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">8,264</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">6,264</td> </tr> </table>	広告料	8,264	委託料	6,264
ふるさと創生基金	6,200									
一般財源	8,328									
広告料	8,264									
委託料	6,264									
(前年度予算 15,000)										

2 事業背景・目的

昨今の情報氾濫社会においては、ユーザーは見たい情報だけ選択して見る時代となっており、戦略的に情報を発信しないとターゲットに届きにくい社会となっています。

従来のマスメディアを使った広告による情報発信は高齢者層に届きやすい反面、今後のターゲット層である若年者・子育て世代には届きにくいなど、媒体を見極めて広告宣伝を行う必要があります。このため、飛騨市への来訪者が多い名古屋圏・富山県に加え、大都市圏在住者に対して飛騨市の情報を的確に届けられる媒体を活用した情報発信を展開します。

また、昨今はSNSを中心として双方向コミュニケーションの重要性が増しており、世界的にも当該媒体に着目した情報発信を進めているところです。このため、双方向のコミュニケーションを中心としたPR活動に重点をシフトしつつ、飛騨市の認知向上と誘客につなげていきます。

3 事業概要

① 【継続】 広告宣伝事業 (8,264千円)

国内においては主に飛騨市への誘客に直接効果の高い北陸・中京地域を中心にマス媒体を活用した広告宣伝を掲出し、動機付けを図ります。海外においては個人客が多い香港・台湾・フランス等を中心に、ユーザー接触率が高い媒体に掲載します。

② 【継続】 PR活動事業 (6,264千円)

国内、特に都市圏における認知を高めるため、年間通してパブリシティを獲得するためのイベント・プロモーション、WEBプロモーション等新たなプロモーション手法を使い、効果的に認知を高める方法を中心に事業展開していきます。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 Tel.0577-73-7463			予算書	P.99~100

継続 池ヶ原湿原のバリアフリー遊歩道の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
31,700	県支出金	5,000	委託料	400
	過疎債	26,300	工事請負費	31,300
	一般財源	400		
(前年度予算 15,000)				

2 事業背景・目的

飛騨市三湿原回廊の一つであり、「岐阜の宝もの」にも認定されている池ヶ原湿原の木道について、積雪加重による沈下が原因で傾斜や歪みが生じ、散策に支障をきたしていることから、一昨年から遊歩道の延伸を含む整備工事に着手しているところです。

平成30年度は残る遊歩道の整備を行いユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくりを目指します。

3 事業概要

平成30年度整備延長 L=195.6m (うち木道 L=195.6m (31,700千円))

池ヶ原湿原のミズバショウ群生地は、県の天然記念物に指定されていることから、その保護保全のため有識者の指導により、湿原内の水脈の通水の妨げとならないよう湿原周囲の外周の残る一部を木道により新たな遊歩道を整備します。

また、車から降りてすぐに湿原内に入ることの出来るのは全国でもほとんどなく、車イスや高齢者の方でも安心して湿原内に入れるようバリアフリーの遊歩道となります。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 Tel.0577-73-7463			予算書	P.99~100

継続 飛騨市観光協会の体制強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
43,930	一般財源	43,930 補助金及び交付金 43,930

(前年度予算 41,716)

2 事業背景・目的

本年度より市と観光協会の体制を一新し、一体となって観光振興事業に取り組んでいますが、休日の業務も多く、スタッフのモチベーション維持と年間各種行事での十分な体制維持が課題となっています。更なる観光誘客及び消費額の増加施策による地域活性化を目指すためには、人材の継続的な育成と十分な自主財源を確保できるよう自走するまでのサポートが欠かせません。

このため、今後観光協会が飛騨市観光の推進組織として、また近い将来、地域DMOの中核組織となるよう、組織・地域マネジメントとマーケティングを推進し、自主財源を獲得するための様々な事業を実施します。

3 事業概要

① 【継続】 観光協会運営補助金 (28,230千円)

観光客の様々なニーズに応える企画立案を行うための事務局機能に支援します。

② 【継続】 観光協会事業実施交付金 (14,962千円)

古川祭・神岡祭をはじめ、三寺参りなど飛騨市を象徴する行事をはじめ、今後の誘客拡大に必要な各種プロモーション活動に対する支援を行います。

③ 【継続】 観光協会自主事業支援交付金 (738千円)

観光協会が自ら企画立案により取り組む事業や、市内4地域独自の観光振興事業に引き続き支援します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P.101